

岡山市のボランティアによる日本語教育の現状

山陽学園短期大学 山根 智恵

1. 岡山市における外国人登録者数の推移

- ・平成4年4月末 5,639人 [男2,640人、女2,999人]
内訳(10人以上) 韓国・朝鮮4,008人、中国614人、フィリピン358人、米国139人、ブラジル115人、インドネシア65人、バングラデシュ・マレーシア34人、オーストラリア31人、英国28人、タイ22人、カナダ14人、チリ・ドイツ11人、フランス10人
- ・平成5年4月末 5,809人 [男2,786人、女3,023人]
内訳(10人以上) 韓国・朝鮮3,981人、中国772人、フィリピン231人、ブラジル212人、米国138人、インドネシア・バングラデシュ51人、マレーシア38人、英国37人、オーストラリア34人、カナダ24人、ペルー22人、タイ21人、エジプト・ドイツ14人、ラオス13人、ガーナ10人
- ・平成6年4月末 6,138人 [男2,911人、女3,227人]
内訳(10人以上) 韓国・朝鮮3,989人、中国878人、フィリピン366人、ブラジル266人、米国140人、バングラデシュ59人、インドネシア50人、英国・オーストラリア40人、マレーシア35人、カナダ28人、ドイツ17人、ペルー・タイ14人、ラオス13人、イラン12人、インド・ガーナ・ネパール10人
- ・平成7年4月末 6,237人 [男2,908人、女3,329人]
内訳(10人以上) 韓国・朝鮮4,002人、中国930人、フィリピン376人、ブラジル268人、米国147人、バングラデシュ59人、インドネシア55人、英国46人、オーストラリア・マレーシア36人、カナダ・タイ26人、ドイツ16人、インド・ペルー・ネパール12人、ガーナ・ボリビア10人

2. 岡山市の留学生受け入れ状況

平成5年4月末 男251人 女139人 合計390人
平成6年4月末 男280人 女150人 合計430人
平成7年4月末 男301人 女169人 合計470人

3. 岡山市における日本語教育

(1) 大学

① 岡山大学

- 昭和55年以前 - 留学生に補講という形で日本語を教える。
- 昭和55年 - 中国政府派遣留学生(進修生)受け入れ開始
- 昭和56年 - 10月より教育学部で教員研修生受け入れ開始
- 昭和57年 - 教養部に日本語・日本事情科目開講
- 昭和61年 - 日本語・日本文化研修生受け入れ開始
- 平成4年 - 留学生センター設立

2 岡山商科大学

平成4年－学部留学生用の日本語の授業開講

(2) 専門学校・予備校・日本語学校

- 1 岡山外語学院－平成4年10月日本語科開設
- 2 英数学館岡山校－平成7年4月日本語科開設
- 3 その他

(3) ボランティアの日本語講座

- 1 O.J.C.(岡山日本語センター)－昭和59年開始
- 2 ONN ボランティアの会(岡山外語学院)－平成7年開始
- 3 西川日本語教室－昭和62年開始
- 4 ユネスコ－平成6年開始
- 5 岡山大学－平成6年開始
- 6 岡山市日中友好協会－昭和56年開始
- 7 その他

4. 岡山市のボランティアによる日本語教育の主要機関とその内容

(1) O.J.C.(岡山日本語センター)

- 1 教師の人数及び性別：男性7人、女性41人
- 2 教師の年齢：19歳～70歳
- 3 教師の動機：外国人と交流がしたい。
- 4 教師の経験年数：3カ月～40年(1年未満6～7人、1～2年10人、2～3年10人、残りは3年以上)
- 5 教師の資格及び知識：大学の日本語教育専攻卒業生1人、養成講座終了者20人
日本語教育能力検定試験合格者6人
- 6 教師の研修システム：O.J.C.独自の研修システムがある。
- 7 機関の母体と母体の登録者数及び設立年度：独自の機関／48人／1984年
- 8 学習者の人数及び性別：100人(男女半々)
- 9 学習者の年齢：小学生～50代
- 10 学習者の動機：会話がしたい。日本語能力試験のための勉強がしたい。
- 11 対象となる学習者：留学生とその家族、研修生、語学教師
- 12 学習者の出身国：中国、米国、インドネシア、ブラジル、フィリピン、英国、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、メキシコなど
- 13 学習者のレベル：入門～上級
- 14 学習者の授業態度：熱心

- 15 授業形態：ティームティーチング(日本人教師2人)によるクラス授業
- 16 授業時間：会話の授業一週28クラス開講、文化関連の授業一隔月1回(俳句/習字) 親睦授業(ゲーム、ポトラックパーティー)一年2回、教室外での授業一年2回程度。1回の授業時間は90分
- 17 教材：オリジナルの教科書(入門、初級、中級)など
- 18 受講料：留学生とその家族は無料、その他の人は1回300円
- 19 県、市の援助状況：県から一人1回500円の交通費代。会場費は無料
- 20 今後の展望：企業などからの受託授業を増やす。

(2) 西川日本語教室

- 1 教師の人数及び性別：男性1人、女性20人
- 2 教師の年齢：20代～70代
- 3 教師の動機：日本にいる外国人の役に立ちたい。以前外国に住んでいたときに現地の人に世話になったので、何らかの形で恩返しをしたい。
- 4 教師の経験年数：3カ月～10年(1年未満6人、2年5人、3年6人、5年2人、7年1人、10年1人)
- 5 教師の資格及び知識：日本語教育能力検定試験合格者3人、市の養成講座修了者
- 6 教師の研修システム：市主催の養成講座受講
- 7 機関の母体と母体の登録者数及び設立年度：独自の機関/21人/1987年に岡山市青年の家日本語教室として日本語を教え始める。1992年に現在名に改名。
- 8 学習者の人数及び性別：50人(男女比1:4)
- 9 学習者の年齢：10代～40代
- 10 学習者の動機：会話がしたい。日本語能力試験のための勉強がしたい。
- 11 対象となる学習者：留学生とその家族、主婦、語学教師
- 12 学習者の出身国：中国、台湾、韓国、インドネシア、フィリピン、米国、英国、フランス、カナダ、バングラデシュ、インド、スリランカ、ペルー、コスタリカなど
- 13 学習者のレベル：入門～上級
- 14 学習者の授業態度：熱心
- 15 授業形態：ティームティーチング(日本人教師2人)によるクラス授業。1回の授業時間は90分
- 16 授業時間：週7クラス開講
- 17 教材：『新日本語の基礎』など
- 18 受講料：無料
- 19 県、市の援助状況：市から一人1回500円程度。会場費は無料
- 20 今後の展望：企業などからの受託授業を増やす。

(3) ユネスコ

- 1 教師の人数及び性別：男性2人、女性4人
- 2 教師の年齢：23歳～70歳
- 3 教師の動機：外国人の相談にのりたい。
- 4 教師の経験年数：1年～20年(1年～2年1人、3年以上5人)
- 5 教師の資格及び知識：大学の日本語教育専攻卒業生1人、日本語教育能力検定試験合格者3人
- 6 教師の研修システム：なし
- 7 機関の母体と母体の登録者数及び設立年度：岡山ユネスコ協会/160人/1994年
- 8 学習者の人数及び性別：1人～10人(男女半々)
- 9 学習者の年齢：20代
- 10 学習者の動機：勉強がしたい。いろいろなことに相談にのってもらいたい。
- 11 対象となる学習者：留学生
- 12 学習者の出身国：中国、韓国、インドネシア、インド、フィリピン、米国、オーストラリア、英国、ニュージーランドなど
- 13 学習者のレベル：中級～上級
- 14 学習者の授業態度：熱心
- 15 授業形態：クラス授業
- 16 授業時間：週1回1クラス開講。授業時間は1回2時間
- 17 教材：決まった教科書はない。プリント配布など
- 18 受講料：無料
- 19 県、市の援助状況：なし
- 20 今後の展望：学習者の人数を増やす。設備の整った教室を使う。

(4) 岡山大学

- 1 教師の人数及び性別：男性3人、女性9人
- 2 教師の年齢：19歳以上
- 3 教師の動機：おもしろそうなので。
- 4 教師の経験年数：0カ月～6カ月(0カ月～2カ月7人、3カ月～6カ月5人)
- 5 教師の資格及び知識：資格なし
- 6 教師の研修システム：留学生センターの講師の講習を受ける。
- 7 機関の母体と母体の登録者数及び設立年度：留学生に対する学生ボランティアグループ/50人/1994年
- 8 学習者の人数及び性別：13人(男4人、女9人)
- 9 学習者の年齢：不明
- 10 学習者の動機：勉強がしたい。留学生センターや大学の授業を補うため。

- 11 対象となる学習者：留学生とその家族
- 12 学習者の出身国：中国、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、バングラデシュ
- 13 学習者のレベル：初級～中級
- 14 学習者の授業態度：忙しいと授業に出て来ない。
- 15 授業形態：ティームティーチング(日本人教師2人)によるクラス授業
- 16 授業時間：週2回2クラス開講(初級1クラス、中級1クラス)。授業時間は1回1時間
- 17 教材：『Situational Functional Japanese』など
- 18 受講料：無料
- 19 県、市の援助状況：市から教材寄贈
- 20 今後の展望：開講クラスを増やす。教師間のローテーションをうまくやっていきたい。

(5) 日中友好協会

- 1 教師の人数及び性別：男性3人、女性4人～5人
- 2 教師の年齢：40代～70代
- 3 教師の動機：中国の役に立ちたい。
- 4 教師の経験年数：4年以上
- 5 教師の資格及び知識：日本の学校の教員免許など
- 6 教師の研修システム：なし
- 7 機関の母体と母体の登録者数及び設立年度：岡山市日中友好協会／390人／1981年
- 8 学習者の人数及び性別：2人～10人(男女半々)
- 9 学習者の年齢：20代～30代
- 10 学習者の動機：研修の一環など
- 11 対象となる学習者：研修生、中国帰国者
- 12 学習者の出身国：中国
- 13 学習者のレベル：入門～上級
- 14 学習者の授業態度：よく勉強している。
- 15 授業形態：クラス授業、プライベート授業
- 16 授業時間：週1～2回1クラス開講。1回の授業時間は2時間
- 17 教材：『標準日本語』など
- 18 受講料：無料
- 19 県、市の援助状況：なし
- 20 今後の展望：特になし

5. 岡山市のボランティアによる日本語教育の展望

- (1) 1995年6月に岡山国際交流センターが完成した。ここで県から委託されているO.J.C.の日本語講座が行われており、7月からは、別のボランティア団体であるONNボランティアの

会も日本語講座を開講している。ここが日本語教育を含め外国人との文化的交流の場の中心となっていくと考えられる。

- (2) 県や市からの財政援助を、現時点以上に引き出すことは当面難しいがそれぞれのボランティア機関が集まって情報交換できるような会議を持ち、併せて援助も依頼していくよう努める。

参考文献

アルク編集部(1994)「日本語教育の現在その2ー「日本語ボランティア」とネットワーク」『月刊日本語』12月号

庄司恵雄(1995)「日本語ボランティアによる留学生家族の日本語学習支援」『平成6年度本語教育相互研修ネットワーク研修会(岡山会場)報告書』

〔付記〕：この機関報告をまとめるにあたり、岡山市役所住民課・情報管理課、岡山大学庶務部留学生課、ボランティアの日本語教育機関の責任者の方々にお世話になりました。記して感謝の意を表します。